

04_新篠津高等養護学校





18_紋別高等養護学校

園芸科 紹介

花や野菜の栽培を通して、働き続ける力を身に着ける学習をしています。収穫した野菜は、校内で販売したり外部へ納品しています。また、ドライフラワー製品作りや、受注作業として缶詰の箱詰め作業にも取り組んでいます。



畑の畝づくり作業の様子



校内販売 味の説明ができるように野菜の試食も行いました



ハロウィンかぼちゃ



接客、会計の様子

〈家庭総合科 紹介〉

家庭総合科では、手縫いやミシン縫いによる製品を作る学習を通して、働き続ける力を身に付けます。
また、相手の立場に立った接客について学ぶ、喫茶サービスの学習にも取り組んでいます。



※大・中・小の巾着



※羊毛フェルトのストラップ



※ポケットティッシュ、ソフトパックティッシュ、
箱ティッシュのティッシュケースを作製



※刺し子ふきん

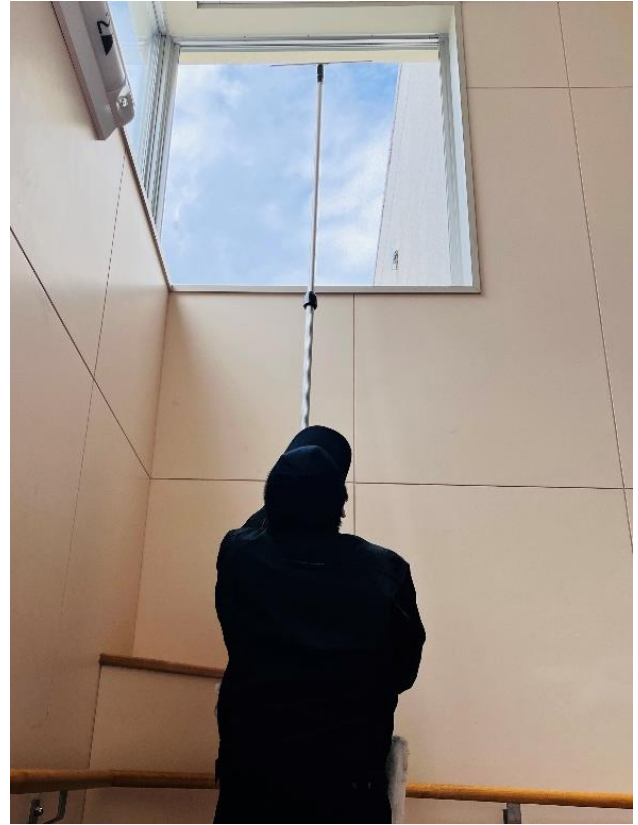
一年生は刺し子製作から始めます。



〈普通科 紹介〉

・普通科では、教科別の学習で身に付けた力を週6時間の職業の時間の中で、校内清掃等の体験的な学習に結び付けながら、将来の勤労に対する意欲や関心を高めていきます。

※窓清掃（学校内の内窓、外窓などの清掃を行います。高い窓はリーチ棒を使います。）



※給食の廃油を利用した廃油石鹸を作製しています。ペットボトルは液体、固形はチーズ型、薔薇型。

10月の学校祭ではバスボムを初めて販売しました。ラベルのデザイン考案やラッピングも生徒が行っています。



木工科 紹介

材料取りから研磨、組み立て。塗装までの製品づくりに取り組んでいます。学年進行に伴って。平面から立体へ、単純づくりから複雑なづくりの製品作りを通して、働き続ける力を身に着けます。



クッキーコースター
ボタンコースター
肉球コースター



デッキチェア



木のおもちゃ（車・ヘリコプター）



サイドテーブル



スパスラッグ、カフェプレート カトラリー

〈窯業科 紹介〉

窯業科では、たたら作り（粘土を板状にして作る）やより作り（粘土を棒状に伸ばして作る）で、皿や茶碗、カップや壺などを作ります。陶芸の作業を通して、働き続けるために必要な知識や技術、礼儀を身に付けます。



※牛柄、栗型、おにぎり型、アザラシの顔のお皿、アヒルの顔のグラタン皿などオリジナルのデザイン。
黄色は新作のビスケット型のお皿です。



※三年生の最終課題では大壺の作製を行います。卒業式、入学式には演台に飾られます。







